



# POWERCAB CLファミリ

POWERCAB CL 212

POWERCAB CL 112

パイロット・ガイド ▶

# 内容

Powercab CL 212と112の仕様.....	3
概要 .....	4
背景.....	4
スピーカー .....	4
アンプ.....	4
Powercab CL 212 & 112 – トップパネルのコントロール	5
Powercab CL 212 & 112 – リアパネル・コントロール .....	6
セットアップ例 .....	7
Powercab CLスピーカー・ボイスングを選択する.....	8
*米国における登録商標 .....	8

ダイレクト・アウトで I R を使用する.....	8
Powercab CL IR Loaderアプリケーションを使用する .....	9
I R のインポート&管理.....	10
Line 6 Marketplace Premiumインパルス・レスポンス .....	11
Powercab CLデバイス・ファームウェアをアップデートする .....	11
ファクトリー・リセットを実行する .....	12
MIDIコントロールを使用する.....	13

© 2025 Yamaha Guitar Group, Inc. 無断複製禁止。

Line 6、Line 6ロゴ、Powercab、Helix、POD及びMetallurgyは米国及び他の国々で登録されたYamaha Guitar Group, Inc.の商標です。Apple、MacとmacOSは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Appleは、この機器操作または、安全規制規準に関する一切の責任を負いません。Windows は米国及び他の国々で登録されたMicrosoft Corporationの商標です。IntelはIntel Corporationの登録商標です。

モデルとシリアル番号は、製品ラベルをご確認ください。以下の番号を控えておいてください。また本書は大切に保管してください。

モデル番号: \_\_\_\_\_

シリアル番号: \_\_\_\_\_

## Powercab CL 212と112の仕様

特徴	Powercab CL 212	Powercab CL 112
アンプワット数	200W RMS	100W RMS
スピーカーサイズ	(2x) 12インチ カスタム・デザイン	(1x) 12インチ カスタム・デザイン
周波数特性	80Hz – 5000Hz	
ラウドネス SPL	123 dB (C) SPL @ 1m	
キャビネット構造	オープンバック	
スピーカー・ボイスング	6	
コントロール	VOICE (スピーカー・ボイスングとXLR OUTPUT- IR選択) ON (スピーカー・ボイスング有効/無効) LOW、MIDとHIGH EQ VOLUME XLR IR – インパルス・レスポンス 選択/無効、ダイレクトXLR OUTPUTにのみ適用	
ユーザー・インパルス・レスポンス (IR) 対応	対応 (48kHz, 2048サンプル、モノ)、XLR OUTPUTにのみ適用 6ファクトリーおよび1デフォルト・インパルス・レスポンス搭載、最大6の追加ユーザー・インパルス・レスポンスをインポート可能	
パワーアンプ入力	スピーカー・ボイスング + トップパネルEQとパワーアンプ直接入力の入力信号ルーティング・オプション	
入力	XLR/6.3mmコンビネーション端子	
ダイレクト出力	XLR (モノ、バランス)、グランド・リフト付きライン・レベル出力	
USB	IR インポート & 管理、ファームウェア・アップデート、USB-MIDI IN用USB-B	
MIDI IN	5-ピン DIN (およびUSB) スピーカーのボイスング選択、I R 選択(ダイレクトXLR OUTPUTのみ)、EQ設定、ボリュームのM I D I コントロール用	
Powercab CL IR Loaderアプリ	<a href="http://line6.com/software">line6.com/software</a> からI Rのインポートと管理、ファームウェアのアップデートを無償で提供	
質量	18.9kg	14.5kg
寸法	694 x 488 x 262 mm	564 x 488 x 262 mm

製品の仕様は変更されることがあります。

## 概要

Line 6® Powercab® CL パワード・ギター・キャビネットをお買い上げいただきありがとうございます。この製品は、お手持ちのモデラー/エフェクト・プロセッサーとの接続に適しています。Powercab CLファミリーのこのパイロット・ガイドには、Powercab CLの特徴と機能が詳細に記載されています。

Powercab CLは、オープンバック・キャビネットが提供できる、部屋いっぱい広がるサウンドを望むギターアンプ・モデラーやペダルボードのユーザーのために特別に設計されたパワード・ギター・キャビネットです。Powercab CLは本格的な「アンプ・イン・ザ・ルーム」感覚を提供するために設計された機能を備えています。まさにアンプがその場にある、という感覚を得ることができるのです。他のLine 6 Powercab製品とは異なり、CLはFRFR（フルレンジ、フラット・レスポンス）システムではなく、一般的なギターアンプのスピーカーを通してモデラーやエフェクト・プロセッサを動作させるのと同等のトーンを提供することを目的としています。特許取得済みのスピーカー・ボイスイング・テクノロジーとの組み合わせにより、著名な6種類のスピーカーの特性をエミュレートしたサウンドが得られます。

**同梱品:** Powercab® CL 212 または Powercab® CL 112、IEC ケーブル、パイロット・ガイド。

## 背景

一般的に、モデリングギアをステージやスタジオでの演奏中に信号を増幅させる場合、ユーザーには2つの選択肢があります。従来のアンプに接続して主にそのアンプモデルをエフェクトとして使用する、あるいはスピーカー・キャビネットのエミュレーションを使い、フルレンジ・モニタースピーカーを通して演奏するかどちらかです。

後者のオプションの方がよりシンプルで、録音したり、フロント-オブ-ハウス (FOH) PAから流すのには丁度良いかもしれませんが、ただ録音するためののように感じられ、部屋でアンプの前に立って演奏する時のような感覚や空気が得られないこともあります。Powercab CLの製品はこのギャップを埋めるため、ユーザーが必要に応じて使い方を選擇できるように設計されています。

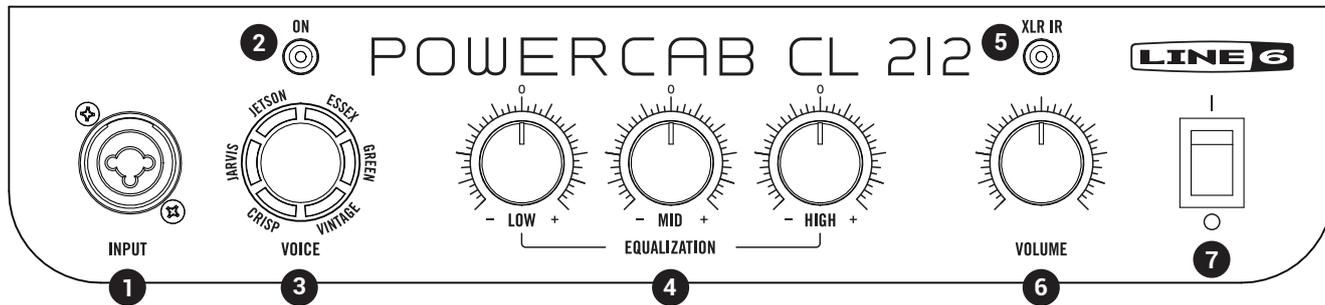
## スピーカー

Powercab CLファミリーの製品は、伝統的なギター・スピーカーで加工されたギター・サウンドを再現するために設計されたパワード・ギター・スピーカー・キャビネットです。この設計により、自然な「ライブ・オン・ステージ」感覚が提供され、さらにダイレクトXLR OUTPUTでインパルス・レスポンス (IR)を利用するオプションを追加することで、FOHに個別のエフェクト信号を送ることができます。

## アンプ

Powercab CLファミリーの製品は、特別に設計されたクラスDアンプを使用しています。これらのアンプは最大のスループットと効率性を達成するために、スピーカーへ最適なワット数を提供するように特別に調整されています。オープンバックの受動冷却設計により、ノイズの原因となる冷却ファンが不要であると共に、Powercab CL筐体の上部にかさばるヒートシンクも不要になっています。

## Powercab CL 212 & 112 – トップパネルのコントロール



Powercab CL 212トップパネル  
(Powercab CL 112は同じコントロールです)

1. **INPUT:** モデラーやエフェクト・プロセッサからのラインレベル出力を、XLRまたは6.3mm (バランスまたはアンバランス) ケーブルで接続します。

 **注記:**これは一般的な楽器入力ではありません。楽器を直接このInput端子に接続しないでください。

2. **ON:**このボタンのLEDが明るく点灯しているとき、オンボード・スピーカー・ボイスはアクティブです。押すとスピーカー・ボイスが無効になり、Powercab CLスピーカーの「自然な」サウンドを使用します。(このボタンはスピーカー・ボイスのオン/オフのみを切り替えます。現在のXLR IR **5** オン/オフ状態やロードされたIRは影響を受けません。) 入力信号がクリッピングしている場合、ONボタンLEDが赤く点滅します。
3. **VOICE (スピーカー・ボイス・セレクター):** この6セグメント・エンコーダーを回して付属のスピーカー・ボイスを切り替えます。現在のボイスをその部分のLEDリングで示します。選択されたボイスがオンの場合はLEDが明るく点灯し、オフの場合は暗く点灯します。

VOICEエンコーダーを回すと、自動的にXLR IR **5** ファクトリーまたはユーザーIRバンクのIR A~Fが選択され、XLR IRスイッチのモードに応じてダイレクトXLR OUTPUTに適用されます。詳細は [8ページ](#)を参照してください。

4. **EQUALIZATION:** LOW、MIDおよびHIGHノブを調節し、キャビネットの出力に対するルームレベルのEQを素早く調整します。(XLR OUTPUT信号は、これらのコントロールで影響を受けません。)

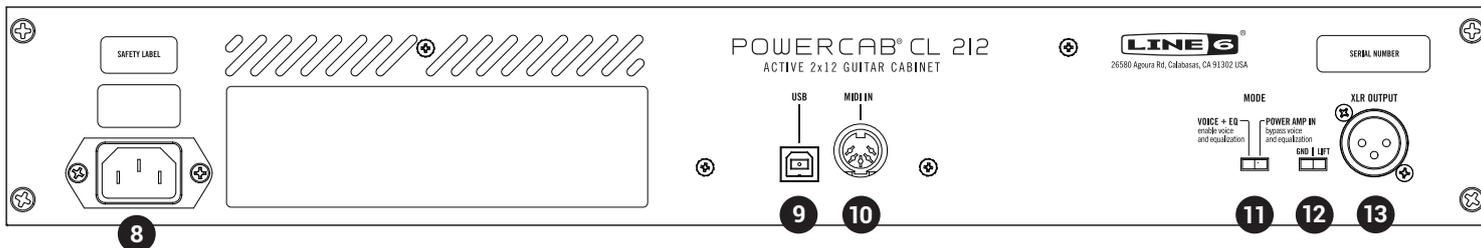
 **注記:**LOW、MID、HIGHノブの「12時」の位置にはディテントがあり、フラットEQ (ブースト、カット無し)となります。中央より左に回すと、そのコントロールの周波数がカットされ、右に回すと周波数がブーストします。

5. **XLR IR:** このマルチカラーLED ボタンを押して、6つのファクトリーIR (白色LED)、6つのユーザーIR (ピンク色LED)、デフォルトIR (青色LED)のバンクを選択、有効化、またはオフ(LED消灯)にします。[8ページ](#)を参照してください。VOICEエンコーダー**3**を回し、ファクトリーまたはユーザーIRバンクのIR A~Fを選択します。選択したIRは、ダイレクトXLR OUTPUT **13**信号のみに適用されます。詳細は [8ページ](#)を参照してください。

 **ヒント:**IRは、6つのUser IRロケーションに既にロードされています。無償のPowercab CL IR Loaderアプリを使用することで、自分だけのユーザーIRをインポートすることもできます。[9ページ](#)を参照してください。

6. **VOLUME:** アンプの全体的な音量を調整します。
7. **ON/OFF:** Powercab CLの電源をオン/オフにします。

## Powercab CL 212 & 112 – リアパネル・コントロール



Powercab CL 212 リアパネル  
(Powercab CL 112 は同じコントロールです)

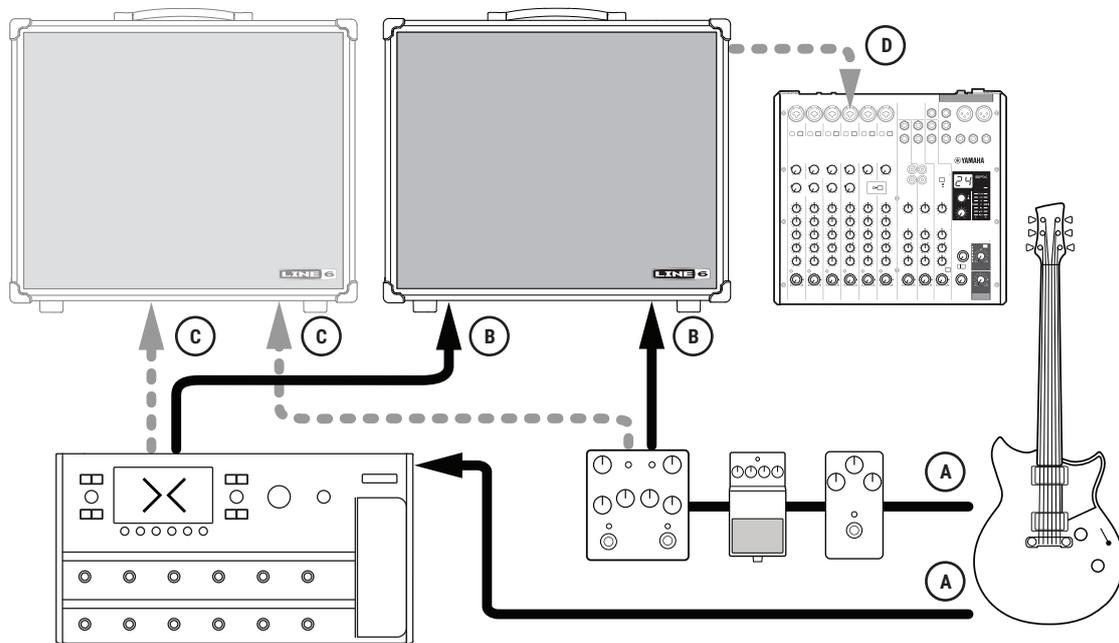
8. **AC In:** 付属のIEC電源コードを接続します。電気情報については、リアパネルに記載されている表示をご覧ください。
9. **USB:** macOSまたはWindows®コンピュータに接続し、**Powercab CL IR Loader** ソフトウェアを使用すれば、I Rのロード、管理、ファームウェアのアップデートをインストールすることができます。[line6.com/software/](http://line6.com/software/) から無償で入手できます(9ページ参照)。MIDI コントロール・メッセージはUSB経由で受信もできます(13ページ参照)。

**注記:** Powercab CLデバイスは、必ず長さ2メートル以下のUSBケーブル(別売り)を接続して使用してください。

10. **MIDI IN:** MIDI コンティニュアス・コントローラー (CC)メッセージを受信するために、M I D I 機器のMIDI OUTから接続します。詳細は13ページ、「MIDIコントロールを使用する」を参照してください。
11. **MODE:** このスイッチを設定し、入力信号のルーティング・モードを決定します。スイッチをVOICE + EQ (左) に設定すると、入力信号は Powercab CLのスピーカー・ボイスिंगとEQにルートされます。一般的に、入力信号にスピーカー・キャブ・エミュレーションやI Rプロセッシングが含まれていない場合に最適です。POWER AMP IN (右) に設定すると、入力信号はダイレクトに内蔵パワーアンプにルートされます(スピーカー・ボイスिंगとEQは含まれません)。入力信号にキャブ・エミュレーションやI Rプロセッシングが既に含まれている場合は、こちらを選択した方が良いでしょう。

12. **GND | LIFT (グランド/グランド・リフト):** このスイッチで、XLR OUTPUT端子の接地回路を保持(左の位置)または、「LIFT」(右の位置)に切り替えることができます。接地回路をリフトし、不要なハムを発生させる原因となる接地ループを確認する際に便利です。
13. **XLR OUTPUT:** このXLRバランス、固定ラインレベル出力を、FOHミキサーまたはオーディオ・インターフェースの入力に接続します。この出力信号には選択したIRが含まれます(8ページ、「ダイレクト・アウトでI Rを使用する」参照)。

## セットアップ例

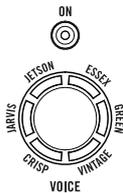


- (A)** ギターをモデラー (Line 6 Helix\*やPOD\*ファミリー等のモデリング機器) に接続するか、あるいは「アンプ・イン・ザ・ボックス」タイプのエフェクト・ペダルに接続します。
- (B)** モデラーまたは最後尾のペダルのアナログ6.3mmまたはXLRモノ出力をPowercab CLのINPUTに接続します。
- (C)** ステレオ・セットアップの場合は、モデラーやペダルのステレオ6.3mmまたはXLR出力を、別のPowercab CLのINPUTに接続します。

- (D)** オプションとして、Powercab CLアナログXLR OUTPUTからダイレクト信号をP Aまたはミキサーに送ることもできます。

**💡 ヒント:** さらには、外部MIDIコントローラー機器をPowercab CLのMIDI INに接続することで、様々なオプションをリモートでコントロールすることもできます。詳細は13ページ、「MIDIコントロールを使用する」を参照してください。

## Powercab CLスピーカー・ボイスングを選択する



Powercab CLには、フロント・パネルのVOICEエンコーダーを回して選べる6つのユニークなスピーカー・ボイスングが用意されています。これらのボイスングは、内蔵スピーカーの中に隠された、著名な6種類のスピーカーの特性をエミュレートしたものと考えてください。オプションとして、ONスイッチでボイスングを無効にすると、Powercab CLスピーカーの自然なサウンドを利用できません。

ボイスング	以下をベースにしています。*
CRISP	Roland® JC120コンボ・アンプのカスタム・デザインされたスピーカー。より豊かなレンジとクリーンな質感で知られています。
JARVIS	Jensen® P12Qアルニコ・マグネット・スピーカー。Fender® ツイード・アンプとペアで使用されることが多く、バランスも良く、ミッドレンジをわずかにスクープさせたクリスピーで、よりクリーンなトーンを生み出します。
JETSON	Jensen C12Kは、ヘヴィーな中域、重厚さ、ストレートでややダークなトーンを出すために、よくFenderアンプとペアで使用されています。大胆でヘヴィーなオーバードライブ・トーンも醸し出すこともできます。
ESSEX	Celestion® Alnico Blueスピーカーは、クラシックな「チャイム」と「ジャングル」をなトーンには、Vox®アンプやClass Aスタイルのアンプとよくペアで使用されています。
GREEN	Celestion G12M Greenback スピーカー。クラシックなロックのトーンを再現するために、決まってビンテージなMarshall® Plexiアンプとペアで使用されています。
VINTAGE	不変のCelestion Vintage 30は、その名前とは裏腹に、「モダン」でゲインの高いトーンが広く愛されています。

VOICEエンコーダーを使用して、ファクトリーまたはユーザー・バンクのIR A~Fを選択し、ダイレクトXLR OUTPUTに適用します。XLR IRボタンを使用してIRバンクを選択します。詳細は次のセクションをご覧ください。

## \*米国における登録商標

本ドキュメントに記載されているすべての製品名は、各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar GroupまたはLine 6との関連や提携関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

RolandはRoland Corporation U.S.の登録商標です。JensenはElectronics Trademark Holding Company LLCの登録商標です。FenderはFender Musical Instruments Corp.の登録商標です。CelestionはKEF Celestion Corporationの登録商標です。VoxはVox R&D Limitedの登録商標です。MarshallはMarshall Amplification Plcの登録商標です。

## ダイレクト・アウトでIRを使用する

**XLR IR** IRを有効にすると、ギグで「アンプ+IRキャブ」の完全なギター信号をダイレクトにFOH PAシステムに送信したり、ダイレクト・レコーディングのためにオーディオ・インターフェースの入力に送信するのに便利です。

XLR IRボタンを押すと、以下のように4種類のLEDの色で示す、4つのモードが切り替わります。

LED カラー	IR/バンク/機能
白色	Factory IR/バンク - ファクトリー IRの1~6を含むファクトリーバンクを有効化します。これらのIRは、Powercab CLオンボード・スピーカーに適用される6つの各スピーカーにマッチします。
ピンク色	User IR/バンク - ユーザー・バンクを有効にし、インポートが可能となり、自身のIRファイル6つを使用することができます。詳細は次のセクションを参照してください。
青色	Default IR - Powercab CL本体に搭載されているスピーカーの「自然な」サウンドにマッチするデフォルトの個別IRをロードします。
LED オフ	IRはロードされません (XLR OUTPUTはどのIRにも処理されません)。

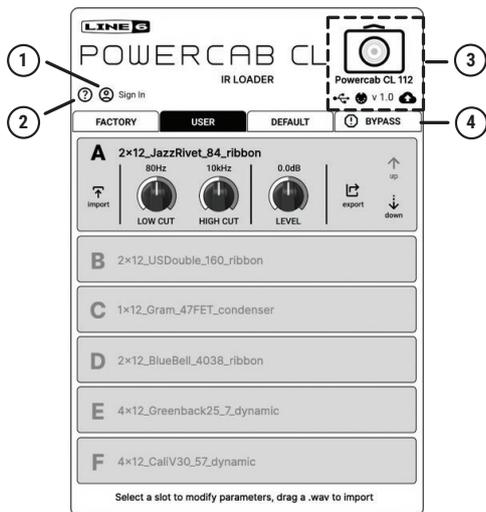
Factory IRまたはUser IR/バンクに設定されている場合、VOICEエンコーダーを回して、そのバンクのそれぞれのFactory IR 1~6とUser IR A~Fをロードします。



**ヒント:** プロ仕様で作成されたIRが、「Line 6 Marketplace」[オンラインショップ](#)で購入することができます。11ページ参照。

## Powercab CL IR Loaderアプリケーションを使用する

macOSとWindowsコンピュータ用に無償のLine 6 Powercab CL IR Loaderソフトウェアがline6.com/software/から入手可能です。IR Loaderアプリケーションはシンプルでコンパクトなユーザー・インターフェースを提供し、IRとその設定に簡単にアクセスすることができます。



Powercab CL IR Loaderアプリケーション

### 最小システム要件

- macOS 10.14, 64ビット (Intel®およびSiliconプロセッサ・タイプに対応)
- Windows 10, 64 bit
- デュアル・コア2.0GHzプロセッサ
- 4GBのRAM
- 100MB以上の空きディスク容量
- アップデート通知とファームウェアのアップデートにはインターネットの接続が必要です

① **Sign Inボタン**: クリックしてline6.comアカウントにサインインします。未だアカウントをお持ちでない場合は、無料アカウントを作成してください。サインインすることで、アプリが重要なアップデートを通知し、Line 6 Marketplaceプレミアム・アセットの使用を自動的にコンピュータに許可します。[11ページ参照](#)。

② **アプリケーション・メニュー**: メニュー・ボタンをクリックして以下のコマンドにアクセスします。

**Settings** – アプリのSettings画面を開きます。



Settings画面

- **Warn of Impulse Response Overwrite** - チェックを入れて有効化すると、User IRの場所にIRをインポートする際に、この操作によって既存のIRが上書きされることを警告します。
- **Clear Download Cache** - ファームウェア・アップデート画面のDOWNLOAD UPDATE機能を使用すると、アプリはダウンロードしたファームウェアを保存します。ダウンロードしたすべてのファームウェアをコンピュータから消去する必要がある場合は、このボタンをクリックします。[11ページも参照してください](#)。
- **Deauthorize Computer** - IR Loaderアプリにサインインすることにより、購入したMarketplaceプレミアム・アセットをそのコンピュータで利用するための認証が行われます。コンピュータの認証を解除する場合は、このボタンをクリックします。[11ページを参照してください](#)。



**注記**: 認証を解除すると、Line 6 Marketplace IR(hirファイル)のエクスポートが無効になり、このコンピュータでアカウントにライセンスを有した、他のLine 6ソフトウェアの機能も制限されることとなります。再びサインインすることで、コンピュータは再度認証され、IR Loader (およびその他のLine 6アプリ) が完全に無制限の機能に戻ります。

**About Powercab CL IR Loader** - アプリのバージョンと法的通知を含む、About画面を開きます。

**Online Help** - Line 6ウェブサイトのサポート・ページに移動します。

**Online Manual** - Line 6ウェブサイトのManualsページに移動し、最新のパ  
イロット・ガイドやその他のLine 6製品に関する文書を参照できます。

**3** **デバイス、ファームウェアとMIDIチャンネル・コントロール**  
ル: Powercab CLがUSBで接続されている場合、ここに現在のファーム  
ウェア・バージョンと共にそのイメージが表示されます。Powercab CLデバ  
イスのファームウェアをアップデートする際は、Updaterボタンを押します  
 (11ページ参照)。MIDIボタン  をクリックしてPowercab CLのMIDI  
受信チャンネルを選択します(13ページ参照)。

**4** **FACTORY, USER, DEFAULT IR タブとBYPASSボタン**: FACTORY, USER  
またはDEFAULTタブをクリックして各バンクのIRを表示させ、それ  
らの設定を調整します。User IRバンクには、任意の6種類のIRのインポー  
ト、エクスポート、User IRの並び替えなどの追加機能があります。これらのタ  
ブで行ったすべての設定は、自動的に個々のIRと共に保存されます。  
BYPASS タブをクリックすると、XLR OUTPUT 信号のIR処理が無効になります。

## IRのインポート&管理

Powercab CLをコンピュータに接続した状態で、IR Loaderアプリ内の以下の手  
順でIRのインポートと管理を行います。

 **注記:** アプリケーション内でサインインした際、新しいバージョンのアプリケーション  
および/またはPowercab CLファームウェア・バージョンが利用可能な場合、ポップ  
アップ・アラートが表示されます。[11ページ](#)、「Powercab CLデバイス・ファームウ  
ェアをアップデートする」参照。

1. アプリのUSERタブをクリックし、User IRバンクの6つのロケーションのうち1つ  
をクリックして選択し、そのオプションにアクセスします。
2. Importをクリックし、IR.wavファイルが保存されているコンピュータのフォル  
ダーからIRを1つ選択し、インポートします。または、コンピュータ上でIR  
R.wavファイルを直接、アプリの6つのUser IRロケーションのいずれかにドラ  
ッグすることもできます。

 **注記:** IRをインポートすると既存のUser IRが上書きされます。インポートを行う  
前に、Export機能(手順4参照)を使用して、先ず**User IR**をコピーしてください。  
Powercab CLは、サードパーティ・ベンダーから入手可能なあらゆるサンプルとピッ  
トレートのIR.wavファイルをサポートします(インポート時にwavファイルなど  
は、自動的に48kHz/モノ/2048レゾリューションに変換されます)。

3. User IRの「Lo Cut」、「Hi Cut」と「Level」を好みに合わせて調整します。設定はI  
Rごとに自動的に保存されます。
4. オプションとしてExportをクリックすると、User IRファイルのバックアップ・コピー  
をコンピュータに保存することもできます。
5. スロットの右側にあるUPとDOWNボタンを使用して、6つのUser IRをA~Fの  
ロケーションの好きな位置に並び変えます。
6. FACTORYタブをクリックして6つのFactoryバンクのIRにアクセスし、6つ  
のFactoryスロットのうち1つをクリックして各IRの「Lo Cut」、「Hi Cut」と  
「Level」を編集します。設定は自動的に保存されます。(Factory IRは、インポー  
トで書き換えたり、エクスポートすることはできません。)
7. DEFAULTタブをクリックしてDefault IRにアクセスし、「Lo Cut」、「Hi Cut」と  
「Level」を編集します。設定は自動的に保存されます。(Default IRは、インポー  
トで書き換えたり、エクスポートすることはできません。)
8. BYPASS タブをクリックすると、XLR OUTPUT 信号のIR処理が無効になります。

上記の手順でIR設定のインポートと構成が完了したら、アプリケーションを  
終了します。これでPowercab CLの準備はOKです。Powercab CLのトップパネル  
にあるXLR IRボタンを押してFactory IRまたはUser IRバンク、Default IRまたはIR  
Bypassを選択します。詳細は[8ページ](#)を参照してください。

## Line 6 Marketplace Premiumインパルス・レスポンス

プロ仕様で作成された I R が、line6.com/marketplace/ の Line 6 Marketplace オンラインショップで購入することができます。Line 6 Helix、HX<sup>®</sup>、POD Go および Metallurgy<sup>®</sup> 製品向けに広告されているすべての Marketplace I R は、Powercab CL で完全にサポートされています。IR Loader アプリ内の 6 つの User IR スロットでは、.wav I R ファイルの扱いと同様に、これらの独自の (.hir) ファイルをインポートして使用することができます。Marketplace の IR は、購入の際、アカウントにライセンスが付与されるため、IR Loader アプリで購入した Marketplace I R を初めてインポートをするときは、ライセンスを付与されたアカウントにサインインする必要があります。[9ページ](#)参照。

サインインすると、コンピュータでの Marketplace I R ファイルのインポートと使用が許可されます。新しい Marketplace I R にこの初回認証が実行されていれば、このコンピュータで、ライセンスを取得した既存 Marketplace I R をインポートおよびエクスポートするためにサインインする必要はなくなります（コンピュータをインターネットに接続することさえ不要になります）。Marketplace IR (.hir) をインポートすると、IR Loader アプリのユーザー IR スロットにギターのピックのアイコンインジケータが表示されます。

## Powercab CL デバイス・ファームウェアをアップデートする

 **注記:** ファームウェアのアップデートを開始する前に、Powercab CL の MIDI IN ポートから M I D I ケーブルを取り外してください。

コンピュータがインターネットに接続されている状態で、Line 6 アカウントにサインインしている場合、接続されている Powercab CL デバイスの新しいファームウェア・バージョンが利用可能になると、IR Loader アプリがアラートを表示します。最適なパフォーマンスを実現するため、利用可能な最新のファームウェアにアップデートすることをお勧めします。\*



 **\*注記:** IR Loader アプリは、IR Loader ソフトウェアの新しいバージョンが利用可能になると、アラートを表示し、Line 6 のウェブサイトへ移動して最新インストーラーをダウンロードします。以下のファームウェアのアップデート手順を行う前に、**先ず**最新の IR Loader アプリケーションをインストールして更新することを強くお勧めします。

新しいファームウェアのアラートで **YES** をクリックすると、アプリの Firmware Update 画面が表示されます。または、Firmware Update ボタン  をクリックすればいつでも手動で Update 画面を表示させ、最新のファームウェアをチェックしてインストールすることもできます。

Update 画面内のオプションを使用して、数分でファームウェアのアップデートを実行します（または BACK ボタンを押してメイン・アプリの画面に戻ります）。

1. 接続されている Powercab CL デバイスと現在インストールされているファームウェア・バージョンは Update 画面の左上に表示されます。
2. 最新のファームウェア・バージョンが、この時点で画面右上の SELECT FIRMWARE メニューで選択されます。選択したファームウェアの Release Notes を必ずお読みください。

SELECT FIRMWARE Firmware Version 1.00 ▾

3. DOWNLOAD UPDATE ボタンをクリックして選択したファームウェアをダウンロードします。ダウンロードが終了したら、PERFORM UPDATE ボタンをクリックします。



 **注記:** IR Loader アプリが最後にダウンロードしたファームウェアを保存します。コンピュータからダウンロードしたファームウェアをすべて消去したい場合は、アプリの Settings - Clear Download Cache オプションを使用してください。[9ページ](#)参照。

4. 使用許諾契約書をよくお読みください：ACCEPT をクリックして条項に同意し、次に進みます。
5. アップデートが自動的に開始されます。
6. Update Succeeded プロンプトで OK をクリックし、メインアプリの画面へ戻ります。これで Powercab CL の準備は OK です！

## ファームウェア・アップデートをオフラインで実行する

代替りの手段として、インターネットの接続がない状態の「オフライン」のコンピュータに、手動でPowercab CLファームウェア・ファイルを<https://line6.com/software/>からダウンロードしてアップデートすることができます。

ダウンロードが終了したら、Updater画面上部のUPDATE FROM FILEボタンをクリックし、コンピュータ画面に表示されているダウンロードしたファームウェア・ファイルに目を通して選択します。前述のUpdateセクションの4～6の手順に従って、ファームウェアのアップデートを実行します。

## ファクトリー・リセットを実行する

Powercab CLデバイスでファクトリー・リセットを実行し、元のデフォルト設定と元のUser IRに戻します。

1. Powercab CLで使用しているアンブやヘッドホンの電源を切るか、接続をすべて外します。
2. Powercab CLをオフにします。
3. Powercab CLの電源をオンに入れた状態で、Powercab CLのVOICE – ONボタンを、コントロールのLEDが3回点滅するまで押し続け、点滅を確認したらボタンを離します。これにより、Powercab CLは**工場出荷時の設定**に戻ります（ロードされたUser IRを元のLine 6ユーザー IRに置き換えることも含みます）。

## MIDIコントロールを使用する

Powercab CLは、MIDIコントロール・チェンジとプログラム・チェンジ・コマンドに応答し、いくつかのオプションをリモートでコントロールできます。外部MIDIコントローラー・デバイスの5-ピンMIDI OUTからPowercab CLのMIDI INポートに接続し、以下の表に記載されている、MIDIコマンドと値を送信するように、コントローラーを設定するだけです。

 **ヒント:** デフォルトにより、Powercab CLはMIDIチャンネル1の5-ピンMIDI INとUSB-MIDI経由でMIDI入力信号を受信します。オプションとして、Powercab CL IR LoaderアプリのMIDI設定で受信するMIDIチャンネル(1~16またはOMNI)を変更することができます(10ページ参照)。

機能	MIDIコマンド	値	詳細
スピーカー・ボイス オン/オフ	CC13	0~63= オフ 64~127= オン	トップパネルのVOICE-ONボタンで、キャビネット信号に適用されるスピーカー・ボイスの有効/無効を切り替えます。
スピーカー・ボイス + XLR OUTPUT I R 選択	プログラ ム・チェ ンジ	0~5: 0 = CRISP (+ User IR A) 1 = JARVIS (+ User IR B) 2 = JETSON (+ User IR C) 3 = ESSEX (+ User IR D) 4 = GREEN (+ User IR E) 5 = VINTAGE (+ User IR F)	トップパネルのVOICEエンコーダー・パラメーターをコントロールし、キャビネット信号に適用されるスピーカー・ボイスと、ダイレクト XLR OUTPUTに適用されるA~F I Rを同期して選択します。  <b>注記:</b> トップパネルのXLR IRボタン(またはMIDI CC71)を使用して好みのXLR IRモードを選択します。
<b>Low</b>	CC14	0~127	トップパネルのLOW、MIDおよびHIGHノブのパラメーターをコントロールします。  値63でパラメーターは「フラット」です。値が63より小さい場合は「カット」、値が63より大きい場合は「ブースト」になります。
<b>Mid</b>	CC15		
<b>High</b>	CC16		
XLR IR モード	CC71	0~3: 0= Factory IR バンク(白色LED モード) 1= User IR バンク(白色LED モード) 2= Default IR (青色LED モード) 3= バイパス(LED 消灯)	4つのXLR IRモードから選択します(トップパネルのXLR IRボタンを押す操作と同じ)。  値が3の場合、適用されるI Rはありません。

## ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

Line 6インフォメーションセンター

TEL 0120-063-808

上記番号でつながらない場合は050-3852-4473におかけください。

受付時間：11:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日・センター指定定休日を除く）

メールでのお問い合わせ

## 修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理相談センター

TEL 0120-149-808

上記番号でつながらない場合は050-3852-4106におかけください。

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日・センター指定定休日を除く）

メールでのお問い合わせ

## 輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM事業戦略部 輸入マーケティング課

〒220-0012神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号 横浜シンフォオ  
ステージ ウェストタワー

TEL 050-3147-9615